

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホーム菜の花 北丘珠館 2階 R4.3.25 札幌市提出

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「らしさを活かして笑顔の花を咲かせます。」というケア理念を事業所の運営方針として運営を行っている。ユニット内では申し送り時、会議時に理念を共有してケアに活かし実践出来るようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中、年2回の広報誌や運営推進会議、避難訓練など定期的な案内を町内会に伝え、町内会の回覧板に資料を掲載して頂いている。	・現在は仕方ないが回覧板にて知ってもらうのは良い事だと思う。 ・広報誌や案内等で地域と繋がりを持つが現在は方法がないと思う。 ・地域へ情報発信の回数が少ない。地域向けに発行している菜の花通信を2回から3回へ増やすことの提案。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中、運営推進会議は書面、電話での意見聴取に加え、地域包括とのリモートで実施している。その中で地域包括支援センターの方々からアドバイスを受けサービスの質の向上に繋げている。	・参加は出来ていないが送付されてくる内容は見ているので良いと思う。 ・月に1、2回電話して色々な事を確認させて頂くくらいで問題はないと思う。 ・書面、電話、リモート等で出来る限りの手段を使いアドバイスを受けていると感じる。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウィルスの感染対策において、札幌市や東区の介護保険課と密に連絡を取り、ワクチン接種や必要な備品などについてアドバイスを頂いた。	・公的機関との連携は大事である。 ・市町村担当者の方々と共に迅速に対応して下さる事を切に願っている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束等適正化委員会を3ヶ月に1回、運営推進会議で2回、ユニット内での内部研修として定期的で開催して、ケアのあり方を見直している。ケアは身体拘束適正化指針に基づき支援を実施。		① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議で2回、身体拘束適正化委員会を3ヶ月に1回のペースで実施しており、内部研修も定期的の実施しケアの見直しを図れる様努めている。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止委員会の開催により学ぶ機会があり、職員に周知を行っている。虐待防止指針、虐待マニュアルを使用しカンファレンス時に研修を行い意識を高めるようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・内部研修を通して虐待についての意識改革を行っている。また、定期的に面談を行い職員のメンタルケアを行っている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	権利擁護に、コンプライアンスについては、研修で学ぶに加え本社からの通知やポスター掲示を行い喚起している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は本社職員と管理者が同席しご家族の意向、不安を細かく聞き取っている。信頼関係を構築し契約締結の際はご家族様が安心して、納得出来るよう説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前はアンケートボックスの設置で意見や要望を聞き取っていたが、コロナ禍の面会制限もあったことから直接電話にて意見、要望の聴取に努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・コロナ過で面会制限があり直接意見交換する機会は少ないが、電話やリモート面会時に意見交換をする事が出来ている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月1度法人内における管理者会議にて職員の意見、提案を聞く機会がある。ユニット内では全職員へのアンケート調査を行った。その結果を基に職員の個人面談を行い意見や提案を聞く機会を作った。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員のスキルアップのための研修 幹旋費用、資格手当、勤続手当、処遇改善手当など職員のやりがいやモチベーションの向上を図っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・各諸手当や業務改善による残業の減少等で働きやすさやモチベーションが向上出来る様努めている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	実践リーダー研修、実践者研修、初任者研修、認知症介護基礎研修などを職員の経験、努力に合わせ受講促進している。今年度は認知症介護基礎研修2名修了、初任者研修1名修了している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・コロナ禍ということもあるが、初任者研修は3人実施し終了しており、今後も資格取得が出来る職員はスキルアップ出来る様にサポートが望まれる。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中において東区の管理者会議の連絡、案内、研修の参加の呼びかけ、資料のFAXなどのやり取りに留まっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念に基づき、らしさを大切に、何を望み過ぎたいのかアセスメントを実施。カンファレンスで共有を通じて望む生活に近づける様に努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中ご家族との面会制限を行っていたが、リモート面会の実施、電話で話す機会を作った。またユニット新聞で入居者様の状況を細かく伝える様にし安心して頂けるよう努めた。	・電話で状況の確認が出来ている。 ・コロナ禍の中なので面会制限は仕方がない。 ・ユニット新聞やリモート、面会は家族を繋いでくれていると思う。 ・毎月のユニット新聞を楽しみに見ている。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	暮らしの情報(B3シート)を誕生日に担当者が作成している。また、日頃の会話の中での気づきを共有し、入居者様の生活の意向を確認出来るようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者が中心となって入居者様本人の意向の聞き取りを行っている。日常の中での気づきはボードに貼り共有できる様にし、それらを基にモニタリングを行っている。	・特に問題ないと思う。 ・本人の希望を聞き、出来る範囲で取り入れて頂いているようでありがたい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・モニタリングは計画作成担当者と毎月打ち合わせ時間を設け、意見交換や情報共有を行っている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画に立案されているサービス実施を介護記録に記入することで評価し、次回介護計画に活かすよう努めているが、実施した記録の充実性が図れていないのが実情である。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・最終目標は職員全員が介護計画の原案を作成出来るようになる事であり、その目標に向け介護計画の一連の流れに関する内部研修を細かく分け行う事と介護計画のサービス内容をより分かり易いものにしていくことを期待する。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	通院またはその他個別支援が必要な時には、その必要性を説明した上で対応を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時は連絡を頂いているので良いと思う。 ・通院の際に付き添いをして頂き大変助かります。 ・家族に連絡や説明はあると思う。 		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍において買い物など出来ない状況であるが、畑の作業や作物の収穫、外気浴などを通じご本人の力が発揮出来るように努めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中考えられてケアに努めている。 ・実施出来ることにも限りがある為、考えて支援を行っていると思う。 ・可能な範囲で外の空気に触れさせて頂いていると思う。それ以上はコロナ禍においては無理だと思うし、心配である。 		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に提携医療機関を提示した上で病院を選択できる様にしている。月2回の往診、24時間の医療体制で適切な医療が受けられるようにしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院した際、介護添書を作成し病院関係者と情報の共有を図っている。入院時の状態については、地域連携室と連絡を取り合いながら退院後の事も含め話し合いを行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・入院した際は病院と連携を図り、退院時にホームで安全に暮らせる様情報交換を密に行いほぼ出来ている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時、重度化における説明、最期における意向確認をし同意を頂いている。また状態変化に合わせ、看取り介護指針に則りご家族、主治医と話し合いの場を設け意向を確認している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・重度化や終末期には意向の確認をご家族や主治医と共に話し合いをしている。その情報を職員へ共有しターミナルケアの実践を十分に行えている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	救命救急の講習を全員が受講し内部研修では緊急時の対応を弊社フローチャートを使用し実施している。また館全体での申し送りを行い緊急時に備え状態を共有している。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は年2回の避難訓練を館全体で実施。しかしコロナ禍の影響により地域との協力体制を築けていない。また災害時は、地域で一番高い建物であり、自家発電装置もある事を町内会や近隣の方々にも周知している。	・地域に発信していく事が大切であり、コロナが収束に向かえば、再び出来ると考える。 ・地域とは持ちつ持たれずの関係継続を願っている。避難については訓練が活かされる事を願いつつそのような事が起きない事を祈っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・災害時のBCPや法人内のマニュアルの作成と災害対策がほぼ出来ている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニットの目標として、「尊厳への気遣いと配慮を忘れずに、受容と共感を理解し、実践」という事を掲げ職員の意識向上を図り支援に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・内部研修を通して話し合う機会を設けており、ほぼ出来ている。 ・職員の入居者様に対する姿勢や声かけの方法を見て学べる様、見本となる職員に接遇の指導をすることも大切であり、取り組みに期待する。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の意向を汲んだ上ペースを大切に、職員優先とならないように努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の日課として、おかずの盛り付け、食器洗い、食器拭き、お盆拭き、食器の収納、食事の運搬などを決め意欲的に活動出来るようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事の盛り付けや片づけを職員と共に楽しみながら毎日実施する事が充分に出来ている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量、水分量はチェック表を用いて必要量を確認し、個別にヨーグルトやゼリーを用意し支援している入居者様もいる。半年に1回の口腔栄養スクリーニングにて状態の確認を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者様の状態に合わせて歯間ブラシやスポンジを用意して対応している。訪問歯科と連携を図りながら支援を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・口腔ケアの指導やご本人にあった歯ブラシを訪問歯科より指導を頂きながら適時対応する事が充分に出来ている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を用いて、入居者様の排泄のリズムを把握し声かけや誘導を行っている。トイレ内での排泄を基本とし、手すりを用いて立ち上がり、移乗は自分の力を活用できる様残存機能を活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・排泄チェック表やご本人のさりげないしぐさから排泄パターンを読み取り、排泄の失敗を減らせる様努めほぼ出来ている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は週2回を基本としているが、その日の状態に合わせて対応出来るようにしている。浴槽に浸かれない場合は、肩シャワーを併用して身体を温めている。個別に入浴剤を購入しリラックス出来るように努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の体調に合わせて、自室で休めるように声かけし、ゆっくりと休む時間を作っている。自分のお気に入りの場所で休憩される入居者様もいる。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様一人ひとりの往診ファイルがあり往診内容を全員が見れるようにしている。服薬情報はファイルし回覧出来るようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・服薬変更があった場合は職員全員が周知出来る様に薬保管箱や申し送りノートに記載し、また申し送り時も必ず薬を目視で確認し共有が充分に出来ている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員の情報を回覧できる様にして、入居者様の生活史を確認している。それを基に日頃の会話に活かせる様にして、意向を聞き取り出来る活動や作業を積極的に行えるようにしている。	・会話はとても大切であると思うので続けて欲しい。 ・車椅子での行動な為、難しいと思うが楽しみ事には参加させてほしい。 ・一人ひとりの事を考えメリハリをつけてくれていると思う。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中、外出は控えて頂いている。代替としての活動の工夫として、館内で出来る運動、レクを内容を工夫しながら行った。畑の作物の収穫や近所の散策を行いストレスの軽減に努めた。	・出来る事を対応して頂ければと思う。 ・館内でのレクや行事などは本格的で素晴らしいと思う。作物を育てる事も喜びに繋がると感じている。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ④ ほとんどできていない	以前は近所のスーパーで買い物をし支払いも支援していたが、現行は行えていない。可能な限り職員が聞き取り代理購入している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が電話をしたい時には、いつでも連絡出来るようにしている。コロナ禍の中、リモートでの面会も行った。自室で遠方の方とも話が出来て喜ばれていた。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	加湿器による湿度調整、エアコンの室温調整の他、換気や虫除けのための網戸を天窓に設置した。指示票や表札を設置し行きたい場所に迷わず行けるようにしている。掲示は季節感を重視し入居者様が視覚的にも楽しめる様に工夫している。		① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・季節を感じる事が出来る壁装飾を行い居心地良く過ごすことが出来ている。またトイレや居室も看板を設置し、迷うことなく過ごす事が出来ている。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケア理念のもと、その方らしく過ごせるよう、意向の確認は都度行い、自己決定が出来る環境に努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全入居者様の情報シートを作成し、日々の会話の中で情報を集め支援に活かしている。ご家族からも嗜好品・趣味・特技など話を聞きながらご本人との会話に活かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の健康チェックに加え、週に1回弊社担当看護師による健康チェック、月2回の訪問診療との連携により支援を行っている。必要時は他科受診を検討しご家族に提案している。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・訪問診療や週1回の訪問看護により健康チェックを行っており、情報を共有しながら必要時に早急な対応が出来る様努めている。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活はあくまでご本人のペースで過ごせるよう時間を作り支援を行っている。習慣を大切にし自分の行いたいことが出来るように声かけしている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前から使っていた鏡台、タンスなど自分に馴染み深い家具、電化製品、衣類など自室に置き、使用されている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・居室にはご本人のなじみの物を置いている。ご本人が望む物があれば都度ご家族へ連絡し居室へ置くことが出来るよう努めている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中外出は制限されているが、館内での催し事(夏祭り)に参加し、盆踊りや出店でのヨーヨー釣り、射的など楽しむことが出来るよう工夫を行った。	・本人の好みもある為、全員が楽しむ事が出来ないかもしれないが工夫して続けて欲しい。 ・コロナ禍の中な為、外出制限は仕方ない。 ・写真越しであるが「お祭り」が見事に再現されていて素晴らしい。本人たちも心から楽しそうにしていると感じた。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事に関連しての役割分担がある。盛り付け、食事の運搬、食器洗い、食器拭き、食器の収納、お盆拭きなど楽しみを持ち行えるよう支援に努めている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新聞やナンプレなどを楽しみ過ごされている入居者様もあり、自分の楽しみを持てるように支援に努めている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者様一人ひとりの出来る事を余暇時間や活動時間に取り入れており、ほぼ出来ている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	コロナ禍において、近隣や地域との関わりは控えて頂いている。	・現在はコロナ禍にもある為、仕方ない。 ・近隣の保育園や小、中、高校と連携を図り、運動会や発表会をリモートで参加出来ないかの検討。		

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>Ⓒ あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍において地域、ご家族との触れ合いは行えていない状況であるが、職員や入居者様など馴染みの関係性を構築するし、安心して生活が遅れるようサービスの提供に努めている。</p>	<p>・コロナ禍で職員に頼る事ができ、安心して</p> <p>る。</p> <p>・とにかくコロナが収束しない限り何事も大変である。</p> <p>・地域や家族とのふれあいは喜びや刺激になると思う。ただ心穏やかに落ち着いて生活している様子を見ると本人は施設を「自分の居場所」と捉えている様で職員の方々の努力に感謝している。</p> <p>・自己評価が C となっているが、コロナによる外的要因を評価に入れなくても良いと考える。</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p>Ⓑ ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・コロナ禍が長期化する中で地域、ご家族との関わりが出来ていないが特別な外的要因であり、制限化の中ご家族との共有を図ることが出来ている為、ほぼ出来ていると評価をする。</p>
----	----	--	--	--	---	--	---